

標十五句

松岡隆子選

憶ひ出とほろほろ歩く萩の道
洗ふ手の乾く間のなき雁わたし
コスモスの吹かれて殖ゆる花の数
秋の滝そこだけ風を立たせたる
秋冷の墓やはらかく拭ひをり
虫すだく炎鳴りの消えし登り窯
鶏頭に三たび四たびの日照雨
誰も招ばずどこにも行かず秋の昼
人の世を少し覗いて木樵虫
霧の町霧湧く音のなほかすか
ゆるやかに余生はじまる花芙蓉
風のなか風のままなる秋の蝶
古書店の棚を巡りて獺祭忌
湖のこの秋冷の懐かしや
けふの日を払ひて畳む秋日傘

鈴木綾
別府優
峰岸よし子
濱地恵理子
染谷晴子
佐藤郭子
廣瀬ハツミ
渡辺あつ子
松原ふみ子
高橋愛子
早川紀子
中島紀子
菊池一枝
珍田千代子
灘秀子